

第15回東関東ストーマリハビリテーション研究会

平成24年10月20日(土)

会長 加藤良二(東邦大学医療センター佐倉病院)

会場 東邦大学医療センター佐倉病院 7F 講堂

1. セッション1

座長：渡辺光子(日本医科大学千葉北総病院)

座長：関谷純子(柏市立柏病院)

演題1. ストーマを造設し長期経過した患者の装具変更への関わり

亀井由香里(筑波メディカルセンター病院)

演題2. 一時的ストーマ造設患者をとりまく家族支援のあり方を考える

田中陽子(聖隷佐倉市民病院外科病棟)

演題3. ストーマ患者会に対する病棟スタッフの意識調査

沼田紗綾香(JA茨城県厚生連土浦協同病院看護部)

演題4. ストーマからの便排出時の汚染減少への取り組み

加藤剛(東京医科大学茨城医療センター東6階病棟)

教育セミナー1

「泌尿器科領域における尿路変更とストーマ」

神谷直人(東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科)

教育セミナー2

「炎症性疾患の内科的・外科的治療」

山田哲弘(東邦大学医療センター佐倉病院内科)

瓜田祐(東邦大学医療センター佐倉病院外科)

2. セッション2 座長：直井師子(成田赤十字病院)

座長：池田優子(東邦大学医療センター佐倉病院)

演題5. 術創上にストーマが造設されケアに難渋した一例

大和恵子(JA茨城県厚生連土浦協同病院看護部)

演題6. がん終末期の多発性瘻孔のケア～患者のQOLを維持するために～

坂巻雅美(日本医科大学千葉北総病院看護部)

演題7. 排液漏出により皮膚障害をきたした患者へのスキンケア方法

柿沼良子(JAとりで総合医療センター外科病棟)

演題8. 正中創離開によりストーマ管理に難渋した症例に陰圧閉鎖(VAC)療法を導入した経験

土屋和佳奈(総合病院国保旭中央病院6階西病棟)

演題9. 小腸瘻周囲皮膚障害による症状緩和に難渋した症例

磯部秀美(JA茨城県厚生連土浦協同病院看護部)